



平成 25 年 12 月 18 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 清 藤 勉
問 合 せ 先 取 締 役 事 業 統 括 推 進 本 部 長 中 川 正 人
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

遺伝子組換えカイコによる家畜感染症のワクチンおよび 診断法の開発へ向けた共同研究開発契約に関するお知らせ

当社とワクチノーバ株式会社（代表取締役社長：種子野章、東京都港区、以下「ワクチノーバ」）は、遺伝子組換えカイコを用いて生産するタンパク質において、家畜感染症のワクチンおよび診断法の開発へ向けた共同研究開発契約を締結しましたので、お知らせいたします。

1. 概要

当社とワクチノーバは、家畜感染症ワクチンの原料となるタンパク質を遺伝子組換えカイコを用いて発現させることを試み、カイコの繭に、そのタンパク質を発現させることが可能であることを確認しました。この度の共同研究開発契約は、この成果をもとに、遺伝子組換えカイコにより製造したタンパク質を用いて、家畜用感染症のワクチンおよび診断法を開発することを目指すものであります。

当社は、遺伝子組換えカイコの繭に可溶性のタンパク質を効率的に分泌させる生産系を開発し、ヒトフィブリノゲン、抗体、ヒト・コラーゲンなどの有用タンパク質の生産に成功しております。現在、これらのタンパク質を原料とした研究用試薬、体外診断用医薬品等の製品化を積極的に進めております。

さらに、当社は、平成 25 年 10 月 21 日策定の新中期経営計画において、遺伝子組換えカイコによる動物用ワクチン開発を成長戦略の柱の一つとして掲げ、優秀な技術を有するパートナーと連携し、5年以内の動物用ワクチンの実用化を目指すこととしております。

一方、ワクチノーバは、株式会社ゲン・コーポレーションのバイオ事業カンパニーの営業、サービス及び、技術基盤のすべての権利義務を承継（2011年7月1日）し、動物用医薬品の研究、開発、製造、販売までを一貫して行う企業であり、各種鶏用ワクチンをはじめとする製品群を上市しております。また、GMPに適合した、動物用医薬品の生産・品質管理体制を整えております。

2. 共同研究開発契約相手先の概要

- (1) 名 称 : ワクチノーバ株式会社
- (2) 代 表 者 : 代表取締役社長 種子野 章
- (3) 所 在 地 : 東京都港区浜松町1丁目24番8号 オリックス浜松町ビル 4F
- (4) 設 立 年 月 : 2011年3月16日
- (5) 事 業 内 容 : 動物用医薬品の研究、開発、製造、販売、マーケティング及び
テクニカルサービス等

- (6) 従業員数 : 約 80 名 (2013 年 1 月 1 日現在)
- (7) 資本金 : 50 百万円
- (8) 株主 : ワクチノーバ GmbH (vaxxinova GmbH)
- (9) 取引銀行 : 三井住友銀行 日比谷支店
- (10) ホームページ : <http://www.vaxxinova.co.jp/>

◆ご参考

【GMP】

「GMP (Good Manufacturing Practice)」の略であり、医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準のことをいいます。

【ワクチノーバ GmbH】

ドイツ法人である同社は、鶏、豚、魚類の感染症の予防に役立つ、GMP 認証が必要な動物用ワクチンの製造と、動物向けの自家ワクチンの研究、開発、製造、販売を行っております。

以上